

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
アフタースクール シーグラス高知教室		令和7年 4月 1日					
	チェック項目	はい		いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点
		6	0	6	0		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0				建物の広さは限られています。お仕事体験の中で自社農園で作業をしたり、時間がある日には外で体を動かせるような活動をしています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	6	0	令和6年度は、管理者1名・児童発達支援管理責任者1名・保育士3名・音楽療法士1名(兼任)・心理士1名・児童指導員(パート)1名の体制で支援を行っています。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	来所してから、活動に移るまでの導線を明確に把握出来る様、配置を行っています。活動中にも作業を行いやすい様に物の配置を行い、集中しやすい様にパーテーション付きデスクを使用したり、パーテーションの設置、作業室の確保をしています。			トイレ等、バリアフリー化は行われていない為、今後も子ども達に合わせて環境設定を検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	清潔に心地よく過ごしてもらえる様、毎朝清掃を行っています。定期的な備品、設備のチェックも行い、活動しやすい環境整備をしています。			子ども達の成長や活動に合わせて、職員間で日々検討を行いながら、引き続き環境調整と構造化を検討していきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	パーテーションや、活動室以外の別室を活用し、落ち着いて過ごせる環境作りや、作業に集中出来る様、環境調整を行っている。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	朝礼(毎日:勤務者全員)や支援後の振り返り、職員会(月1回:全職員)で5項に基づき、児童の様子や支援内容・達成度・支援方法を検討し、計画作成を行っています。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者様からの思いに基づき、職員会を開催しています。頂いたご意向に沿った業務改善策を検討、実施しています。			評価表にていただいたご意向と真摯に向き合い、安心、安全な気持ちで当事業所をご利用いただける様、業務改善に努めていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	朝礼(毎日:勤務者全員)や支援後の振り返り、職員会(月1回:全職員)で、意見交換、情報共有を行い、業務改善に努めています。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	第三者による外部評価は、行っていません。			今後、必要に応じて検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	社内研修の他、研鑽の為に外部研修に参加しています。外部研修に参加した際には、研修報告書を作成し、職員全体への情報共有を行い、事業所全体での研鑽に繋がっています。			今後も職員の資質向上を目指し、研修の機会を確保し、事業所全体の研鑽に努めていきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	HPIにて、支援プログラムの公表を行っています。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	アセスメントを作成し、会議を開催しています。職員間でニーズ、課題の分析と共有を行い、計画作成を行っています。			児童発達支援管理責任者を中心に作成をしています。アセスメントをより充実した内容にし、子ども達のニーズ、課題に向き合っていく様、日々検討していきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	朝礼(毎日:勤務者全員)や支援後の振り返り、職員会(月1回:全職員)で、意見交換、情報共有を行った上で、共通理解をし、個別支援計画を作成しています。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個別支援計画作成会議を開き、職員間で計画の共有を行っています。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	将来の社会生活に向けた支援をPDCAサイクルに基づいて、日常的な様子をアセスメントしています。5項に紐づけた内容でのアセスメントを行っています。			インフォーマルアセスメントを中心に行っている為、フォーマルアセスメントも使用していきます。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	個々の抱えている、困り感や今後の課題、目指すべき目標を職員間で共有、周知した上で、「本人支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」の必要項目の設定と具体的な支援内容の設定を行っています。			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	各活動プログラムでの役割分担を行い、チームでの立案を行っています。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	個々の目標に合わせて、活動プログラムの設定を行っています。			プログラムを行っていく中で、子ども達の意思決定の機会を増やし、より充実したプログラムを行っていく様、努めていきます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	専門的支援を中心に、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、計画の作成と支援を行っています。			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝の朝礼で、その日に行われる活動と支援内容、役割分担などについて、確認を行い、スムーズな連携が行える様に努めています。			
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	サービス提供記録を作成し、情報の共有を行っています。その日、又は次の日に職員間で振り返りも行い、気付いた点等の共有も行っていきます。				
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	サービス提供記録を作成し、支援の検証・改善に繋がっています。				

関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的なモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0	適宜、放課後等デイサービスの基本的活動を組み合わせた支援を行っています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	お仕事体験での仕事の選択や、余暇の選択、おやつ選択等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	サービス担当者には、児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	サービス担当者等で各関係機関との情報共有を行い、連携を行いインクルージョン推進に向けた支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	年間計画、行事予定等の交換と下校時刻の確認等、連絡調整を行っています。	事故、トラブルがないよう、引き続き情報共有を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	中学部、高等部からの利用の方が多い為、機会は少ないのですが、サービス担当者等で各関係機関との情報共有を行い、相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		引き続き、児童発達支援センター主催で行われている研修に参加し、スーパーバイズ、助言を受ける機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	5	放課後等児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会は設けていません。	今後、必要に応じて検討していきます。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	児童発達支援管理責任者連絡報告会に参加しています。	引き続き、協議会へ積極的に参加していく。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳に活動内容等を記載し、送迎時にも口頭での引継ぎを行っています。	より共通理解を深め、当事業所で安心して過ごして頂ける様、丁寧な情報伝達を努めています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	ペアレントトレーニング等の家族支援プログラムは行っていません。年に1度開催している保護者会では、意見交換の機会を作り情報提供などを行っています。	より多くの方々に保護者会へ参加していただき、多くの皆様へ情報共有を行っている様に努めています。必要に応じて、ペアレントトレーニング等、研修の機会の設定も検討していきます。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	運営規定、支援プログラム、利用者負担額等の説明を行っています。	保護者会や面談を通して、適宜丁寧な説明の機会を設定し、ご理解いただける様に努めています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	アセスメントを作成し、保護者の方からのご意向も頂いている。活動の中で、選択や意思決定の機会を設け、子ども達の意向を尊重した支援を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	保護者の方々の説明を行い、同意をいただき計画の作成をしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		皆様から安心して悩み、相談をしていただける様、日々信頼に向け努めて行きます。面談の機会を増やし、よりご家族、ご本人に寄り添った支援を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	年に一度、保護者会を開催し保護者同士での交流の機会を設けています。地域の方々と保護者を招待して夏祭りを行い、家族、兄弟での交流の機会を設けています。	兄弟同士での交流の機会は少ない為、今後検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情解決窓口（苦情解決責任者・苦情受け付け担当者）を設置し、子ども達や保護者様からの苦情、ご要望に対応出来る様に努めています。改善策等は職員で検討、周知し再発防止に努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	活動概要や内容は「シーグラス便り」を発行し、SNSやHPからの発信もしています。行事予定は月間スケジュールを発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報取り扱いには、研修も行った職員一人一人が意識して対応しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	子ども達と保護者様の意向を複数の職員で話し合い、意思の疎通や伝達・共有を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	夏期には、事業所主催の夏祭りを開催し地域住民様、企業様、店舗様にご案内しています。農福連携事業を行っており、採れた野菜で地域の方々向けに良心市を開いています。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルを策定し、訓練計画の作成と訓練を行っています。月間スケジュールにて日程の周知と、SNS、おたより、HPにて情報の発信を行っています。	防犯マニュアルに関しては、内容不十分の為、作成に努めています。ご家族への周知にも努めていきます。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定し、各災害発生に備えた、平行避難訓練、机上訓練等を行っています。		

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	アセスメント作成時に、皆様からの確認を行っています。また、サービス担当者会議等にて、各関係機関と連携し、詳しい服薬状況等の情報共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	アレルギーをお持ちのお子様には、医師の指示書に基づいた対応をアセスメントシートより引き継いでいただいています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		安全計画に基づく取り組み内容の周知について不十分でした。今後、丁寧な発信と周知を行っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	職員間で話し合い、検討した上でヒヤリハットを作成し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待防止研修、身体拘束適正化委員会を発足し、委員会の開催や研修の設定を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束は行っていません。虐待防止、身体拘束適正化委員会の設立をしています。「虐待研修・身体拘束」については定期的に内部研修を行い、職員の理解を深めています。	